

ブリーフィングを行います。  
 日時：令和6年12月19日（木）15時00分～  
 会場：県庁8階 会見室  
 ※この資料をご持参ください。  
 ※ブリーフィングまでの間、報道規制を行うものではありません。

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当：中山、長藤  
 内線：3066  
 直通：092-643-3597

## インフルエンザ警報を發表します

福岡県におけるインフルエンザ定点当たり報告数<sup>※1</sup>が、令和6年第50週（12月9日から12月15日）に35.40となり、警報<sup>※2</sup>の基準値である30を超えたため、本日、インフルエンザ警報を發表します。

年末年始を控え、人と接触する機会も増えることから、今後、さらに感染が拡大する恐れがあります。県民の皆様には手洗いの励行、適切なマスクの着用、三密の回避など感染予防対策の徹底により、感染拡大の防止に努めていただくよう、注意を呼びかけるものです。

※1 1週間における1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者の受診者数で、県内198か所のインフルエンザ定点医療機関から毎週報告を受け、算出しています。

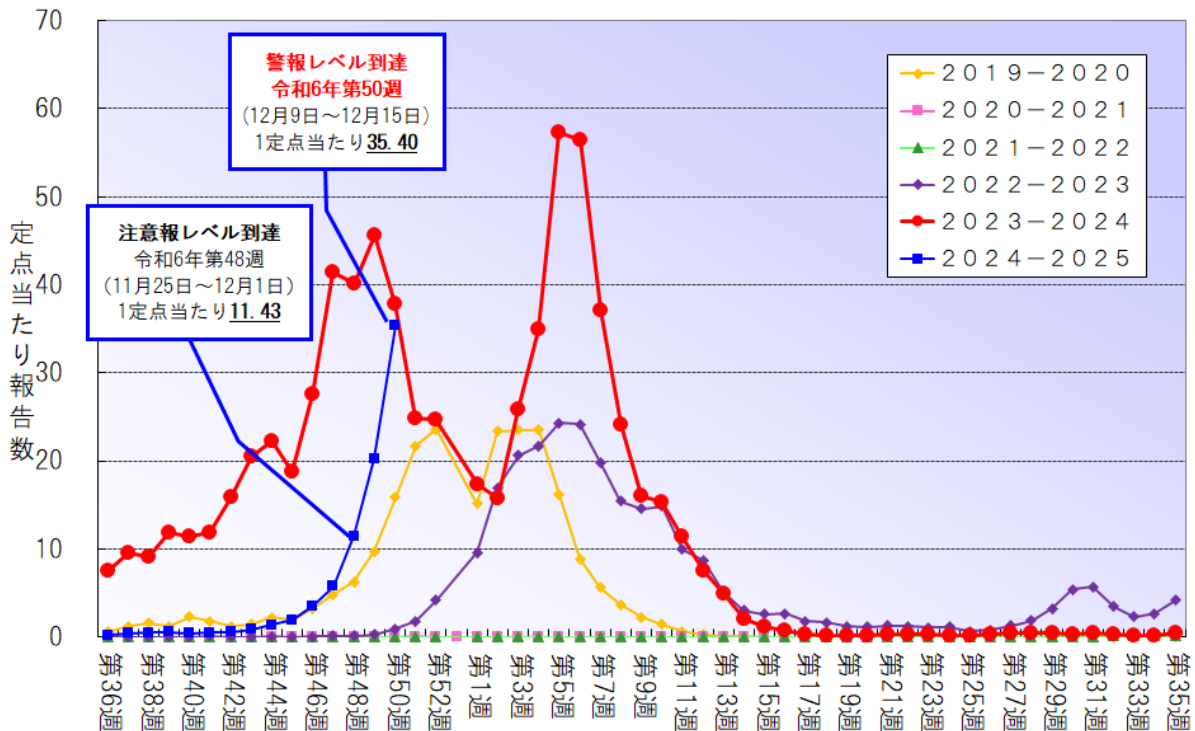
※2 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

### 1 流行状況

- 定点当たり報告数が、令和6年第44週（10月28日から11月3日）に流行開始の目安である1.00を超え1.39となりました。
- 令和6年第48週（11月25日から12月1日）に注意報<sup>※3</sup>の開始基準値である10を超え11.43となりました。
- 県内の地区別の流行状況は、定点当たり報告数で見ると、多い順に北九州地区（46.16）、福岡地区（39.41）、筑後地区（22.67）、筑豊地区（16.68）です。

※3 今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、又は、流行が発生しまだ終わっていない可能性があることを表します。

福岡県におけるインフルエンザ発生状況(シーズン別)



福岡県におけるインフルエンザ定点当たり報告数（第 39 週～第 51 週・シーズン別）

太枠部分は警報を発表した週

	2019-2020	2020-2021	2021-2022	2022-2023	2023-2024	2024-2025
第 3 9 週	1.18	0.00	0.00	0.01	11.91	0.54
第 4 0 週	2.30	0.00	0.00	0.03	11.40	0.45
第 4 1 週	1.76	0.00	0.00	0.13	11.79	0.51
第 4 2 週	1.18	0.00	0.00	0.03	15.92	0.58
第 4 3 週	1.45	0.00	0.00	0.01	20.47	0.87
第 4 4 週	2.19	0.00	0.00	0.04	22.29	1.39
第 4 5 週	2.03	0.00	0.01	0.02	18.78	1.96
第 4 6 週	3.23	0.00	0.01	0.06	27.56	3.49
第 4 7 週	4.85	0.00	0.00	0.10	41.44	5.79
第 4 8 週	6.30	0.00	0.00	0.10	40.13	11.43
第 4 9 週	9.72	0.00	0.00	0.25	45.66	20.30
第 5 0 週	15.83	0.01	0.00	0.91	37.82	35.40
第 5 1 週	21.73	0.04	0.02	1.83	24.79	

<参考>

- ・学級閉鎖等について（保健所設置市を含む今シーズン累計（令和 6 年 12 月 15 日現在））  
報告施設数 456 施設

内訳：保育所 1 施設、幼稚園 32 施設、小学校 290 施設、中学校 94 施設、  
高等学校 28 施設、その他 11 施設

2 インフルエンザをひろげないために

インフルエンザをはじめとする感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳エチケット」などが有効です。

（かからない）

- ① 日頃から手洗いの励行に努めましょう。
- ② 十分に栄養や睡眠をとるなど体調管理をしっかり行い、体力や抵抗力を高めましょう。
- ③ 部屋の換気を定期的に行いましょう。

（うつさない）

- ① 咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけるなどの「咳エチケット」に努めましょう。
- ② かかってしまった場合には、学校などに無理に行かないよう自宅等で療養し、症状がある場合はマスクを着用するなど感染拡大防止に努めましょう。
- ③ 急な発熱、咳やのどの痛み、全身の倦怠感などの症状があらわれた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

3 重症化を予防するために

インフルエンザワクチンによる予防接種は、感染後に発病する可能性を減らし、重症化を予防する効果が期待できます。効果が現れるまでに 2 週間程度の期間を要しますので、早めの予防接種を御検討ください。

◆関連する情報

- ・インフルエンザの流行状況についてお知らせします（福岡県）  
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/flu-2024-2025.html>（又は右記 QR コード）
- ・今シーズンのインフルエンザ総合対策（福岡県）  
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/seasonal-flu-package.html>
- ・福岡県感染症情報（インフルエンザなど感染症の発生状況）  
[http://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](http://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)
- ・厚生労働省（令和 6 年度今シーズンのインフルエンザ総合対策についてのホームページ）  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/index2024.html>
- ・国立感染症研究所（インフルエンザのホームページ）  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-m/3140-influ-top.html>
- ・福岡県医師会（ホームページ）  
<https://www.fukuoka.med.or.jp/>

